

会社説明資料



株式会社 平賀

平成19年9月

お知らせ

平成18年10月13日に株式会社イメージジュの株式を100%取得し、子会社化いたしました。

つきましては、本年度より本資料に記載いたしました業績及び内容は、連結ベースで記載されており、連結対象期間も期中に取得したことから5ヶ月となっております。

会社概要

- 設 立 : 昭和31年 1月 (1956年 1月)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 平賀 明男
- 資 本 金 : 434,319千円 (2007年 3月)
- 従業員数 : 265名 (2007年 3月)
- 事業内容 : 折込広告・包装資材・その他
- 株式関係 : 発行済株式総数 4,015,585株
株主数 515名 (2007年 3月)

沿 革

創業 昭和25年6月 / 設立 昭和31年1月

(製 造 設 備)	昭和39年 9月	埼玉県新座市に工場移転
	昭和47年、48年	オフセット輪転機導入
	昭和61年 3月	IP1000導入
	平成 6年 7月	ネットワークシステム構築
	平成 8年 4月	第三ビルデジタル館開設
	平成12年 4月	原稿作成支援システム構築 (HIRAGA Manuscript Creation system)
	平成12年 6月	工場集約のため第一工場増設
	平成16年 9月	C T P印刷設備設置
(本 社 業 務)	昭和40年 2月	株式会社平賀に商号変更
	昭和44年 9月	高崎支店開設
	昭和51年 5月	本社移転 (現 第二ビル)
	昭和62年12月	仙台支店開設
	平成 3年 9月	本社ビルを新設し、本社業務移転
	平成12年10月	ジャスダック証券取引所に上場
	平成18年10月	株式会社イメージの株式を100%取得子会社化
	平成19年 5月	大阪支店開設

営業拠点

東京都練馬区
本社ビル



第二ビル別館



第三ビルデジタル館



宮城県仙台市
仙台支店



埼玉県新座市
埼玉工場



群馬県高崎市
高崎支店



大阪府大阪市
大阪支店



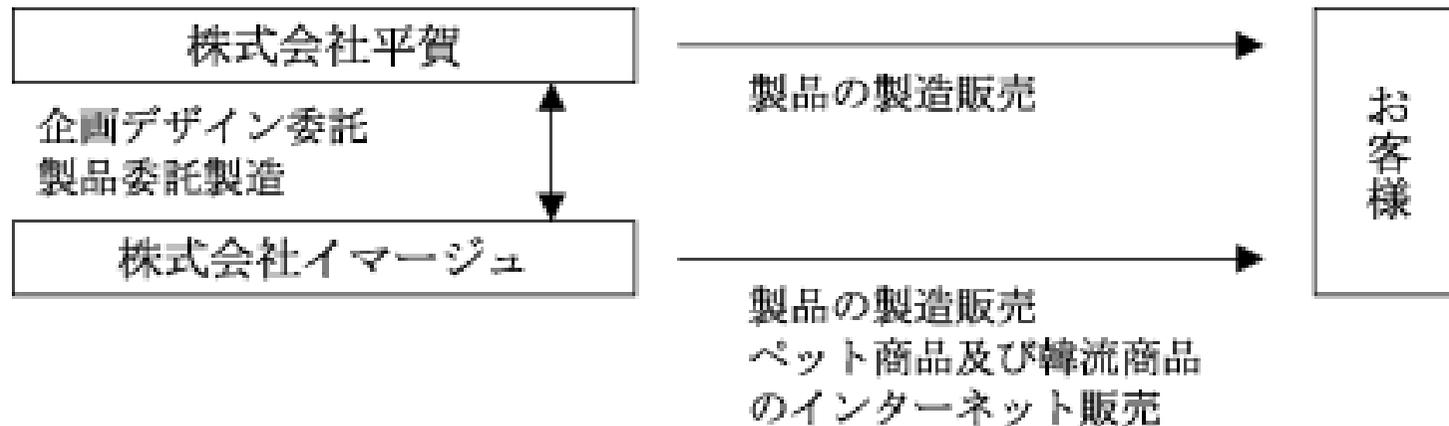
事業内容

印刷事業

- ・折込広告：チラシ(新聞折込、その他)
- ・包装資材：包装紙・紙袋(ショッピングバッグ)
- ・その他：ダイレクトメール・POP・カタログ他

その他の事業

- ・インターネット販売(ペット向け商品、韓流関連商品)



関係会社の状況

- 名 称 : 株式会社イマージュ
- 設 立 : 昭和55年5月 (1980年 5月)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 平賀 明男
- 資 本 金 : 10,000千円 (2007年 3月)
- 従業員数 : 97名 (2007年 3月)
- 事業内容 : 広告デザインの企画印刷請負他

関係会社 営業拠点

大阪市天王寺区
本社ビル



和歌山県日高郡
和歌山工場



東京営業所
札幌営業所
配送センター

東京都台東区
札幌市中央区
大阪市東成区

製品

チラシ・袋・POP



IRチラシ



特殊印刷



新 製 品

シンプル操作のデジタルチラシ・カタログ制作&更新サービス

デジタルチラシ・カタログ「デジム」は、従来よりチラシやカタログなど幅広く利用されてきた紙媒体をそのままインターネットで公開・閲覧することが出来るシステムです。



「デジム」は商品の細部まで鮮明に表示する驚きの高画質で、拡大箇所のみ高解像度データを高速表示でき、使いやすさを重視したわかりやすい操作方法です。

また、ショッピングサイトをお持ちであれば「デジム」との連携により紙面の商品をクリックして直接販売が可能です。



既存の印刷物データが有効利用でき、企画段階から印刷物とWebページを同時に作成する事で、宣伝広告費の圧縮に繋がり、さらに紙媒体などの印刷物では実現することが出来ない様々な機能を追加することが出来ます。



「デジム」はメーカーサイトやレシピなどへのリンクを設定することで、様々な情報を発信することもできます。

基本方針

当社の取り扱うチラシ及び店舗オリジナル紙袋や包装紙並びにPOP（販売時点販売促進物、プライスカード等）などは、流通業やサービス業などの販売促進に関わる商業印刷を提供するために、お客様の販売促進部門に密着して広告効果の増大を図りながら、機動的に得意先の利便性に貢献する企画提案型営業に努め、お客様の宣伝活動の担い手として、また良きパートナーとしてより良いサービスを心掛けております。

また、原稿の入稿・訂正につきましては、インターネットを活用し、迅速に対応することでお得意先様の要望する短期納入を実現しております。当社は情報技術のさらなる進化発展を目指し、「チラシの平賀」「デジタルの平賀」として業容拡大を図ることを基本方針に掲げております。

平成19年 スローガン

競争と調和 そして躍進

平成18年10月より新たに企業グループ化したことにより「競争と調和そして躍進」をスローガンとしてグループとしての相乗効果を発揮するよう当社グループが一丸となって邁進いたします。

株主還元・資本政策

会社の利益配分に関する基本方針

- ・ 利益還元
株主に対する安定的な配当に寄与し、利益還元を充実させること。
- ・ 内部留保
企業体質の強化及び将来の利益確保のための配慮、事業の拡大と財務体質の強化。

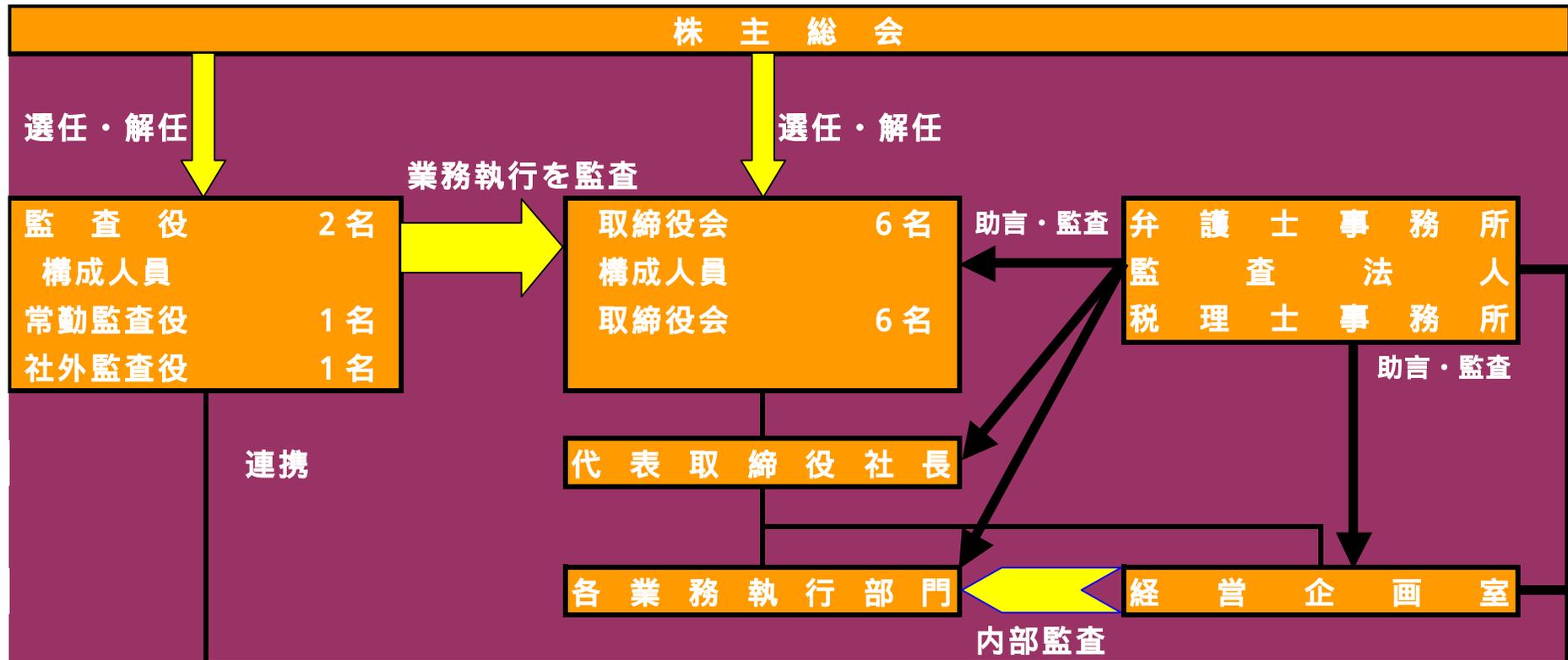
配 当 実 績

第48期 平成15年3月期	第49期 平成16年3月期	第50期 平成17年3月期	第51期 平成18年3月期	第52期 平成19年3月期
30.00	30.00	30.00	30.00	30.00

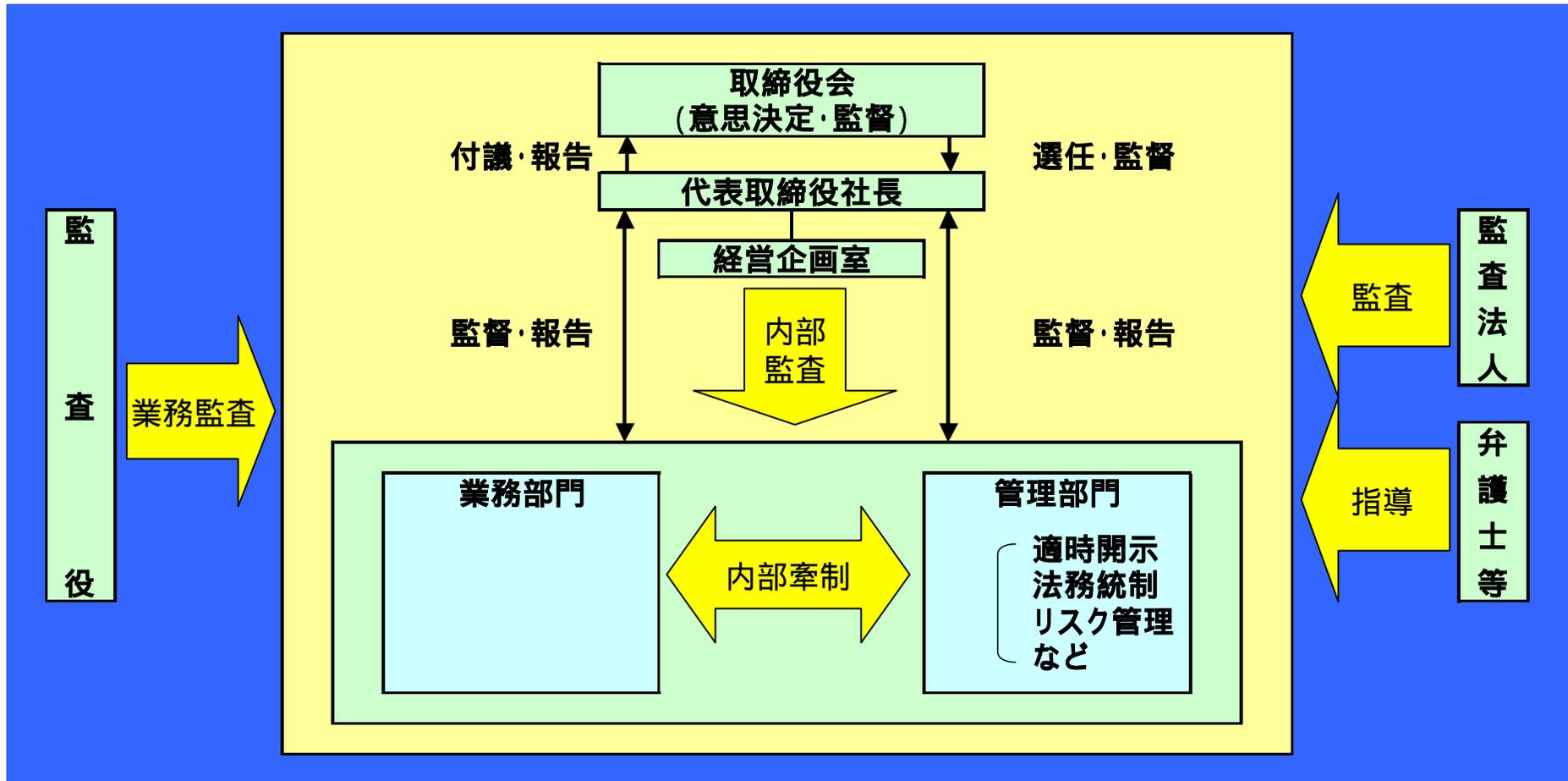
投資単位の引き下げに関する考え方及び方針

- ・ 個人投資家層の拡大並びに株式流通の活性化を図るための有効な施策であることを認識しております。
- ・ 業績、市場の要請等を勘案し、その費用並びに効果等を慎重に検討した上で、株主利益を基本として決定してまいりたいと考えております。

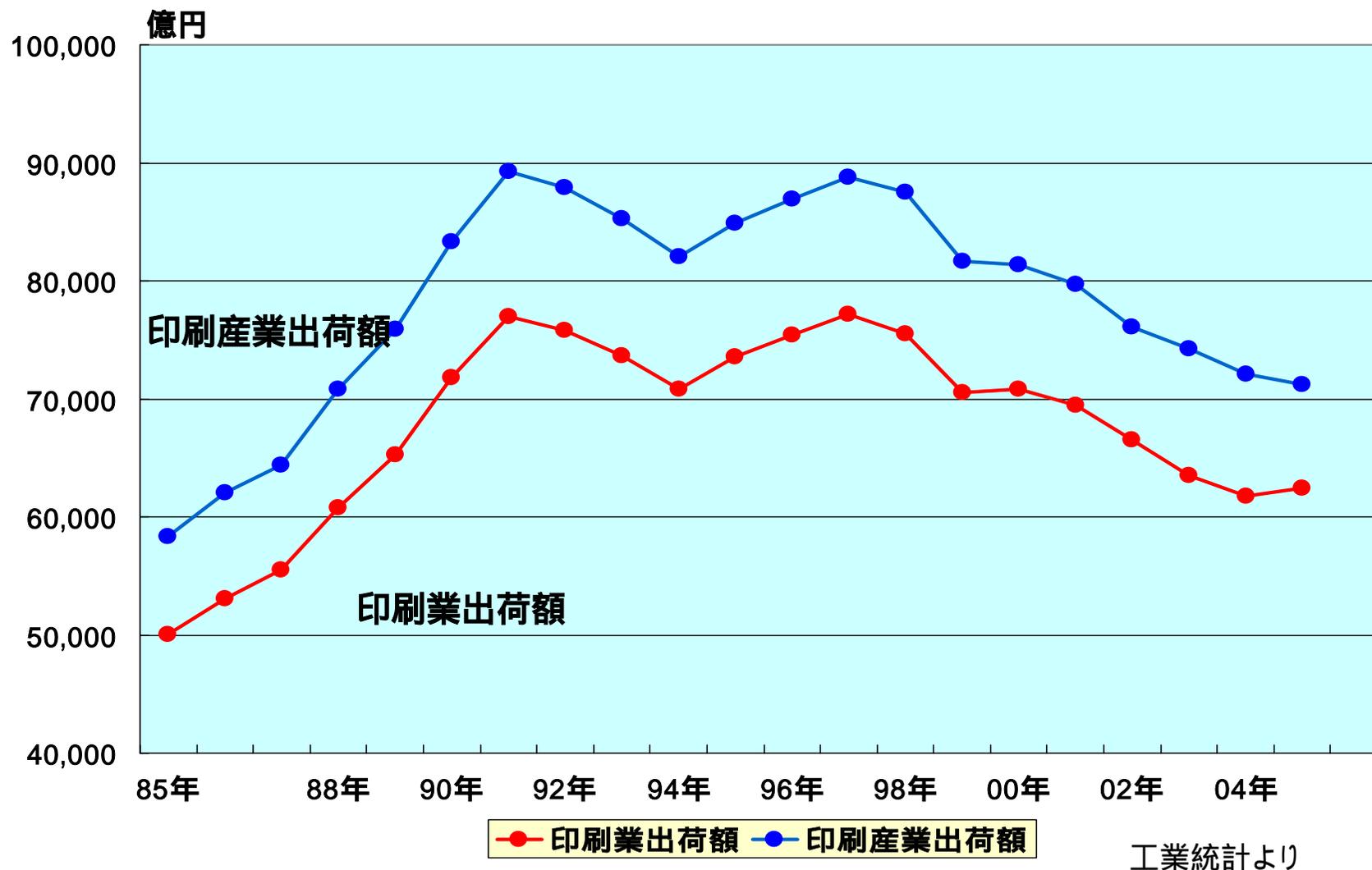
コーポレート・ガバナンス



内部管理体制の整備・運用状況

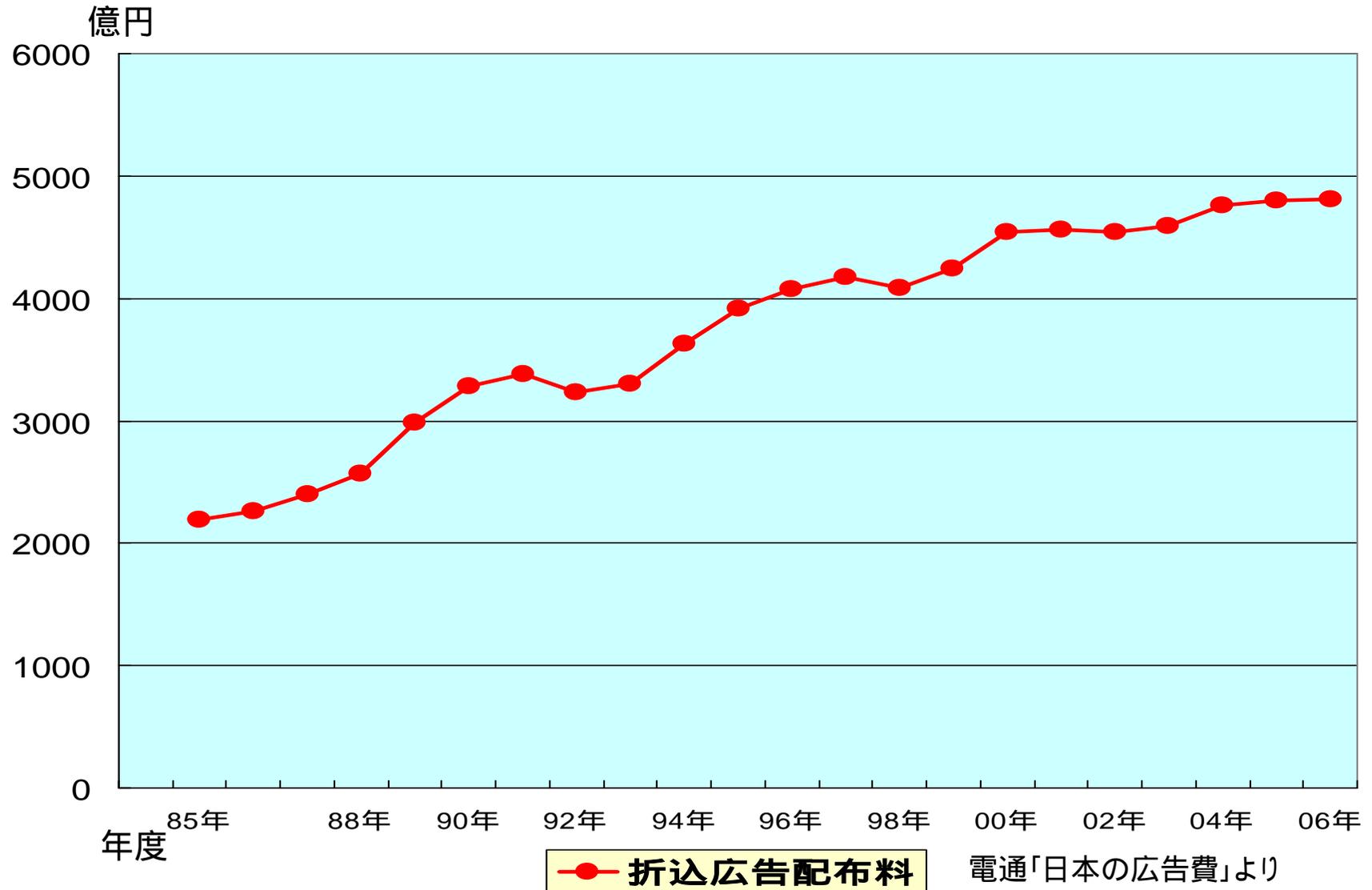


印刷業界市場規模

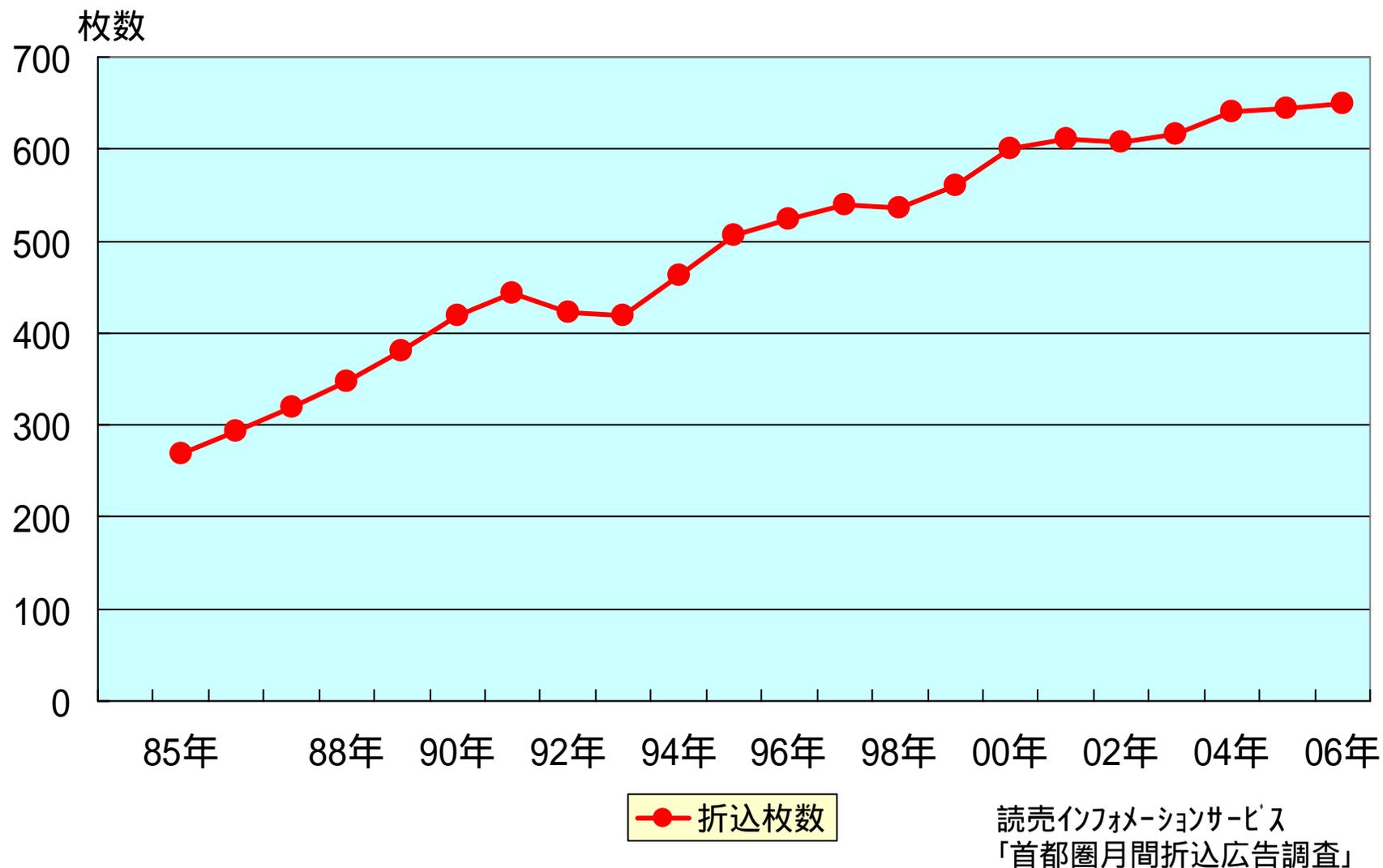


印刷産業 (印刷 + 製版 + 製本 + 印刷物加工 + 印刷関連サービス)

折込広告配布料



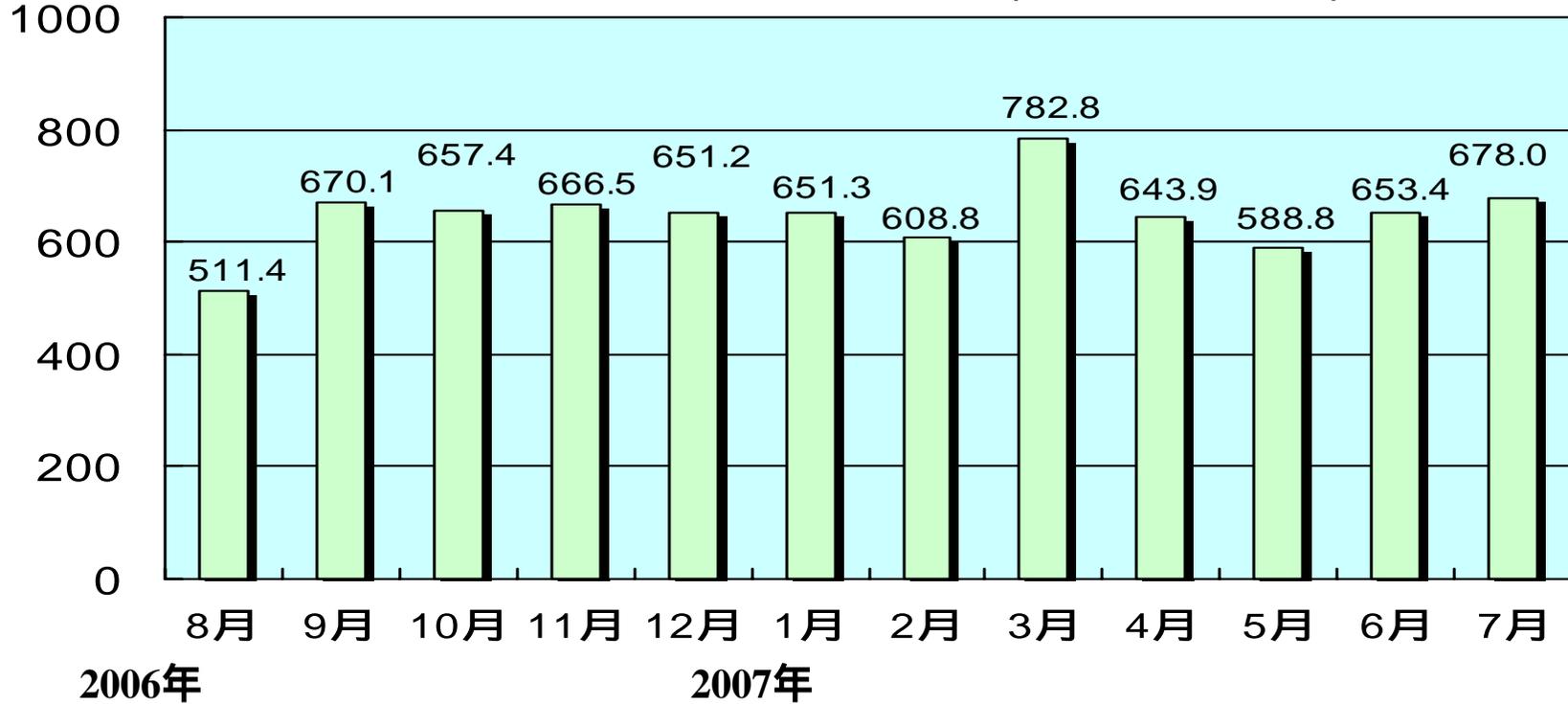
折込チラシ1世帯当たり月間平均折込枚数



首都圏折込広告出稿動向推移

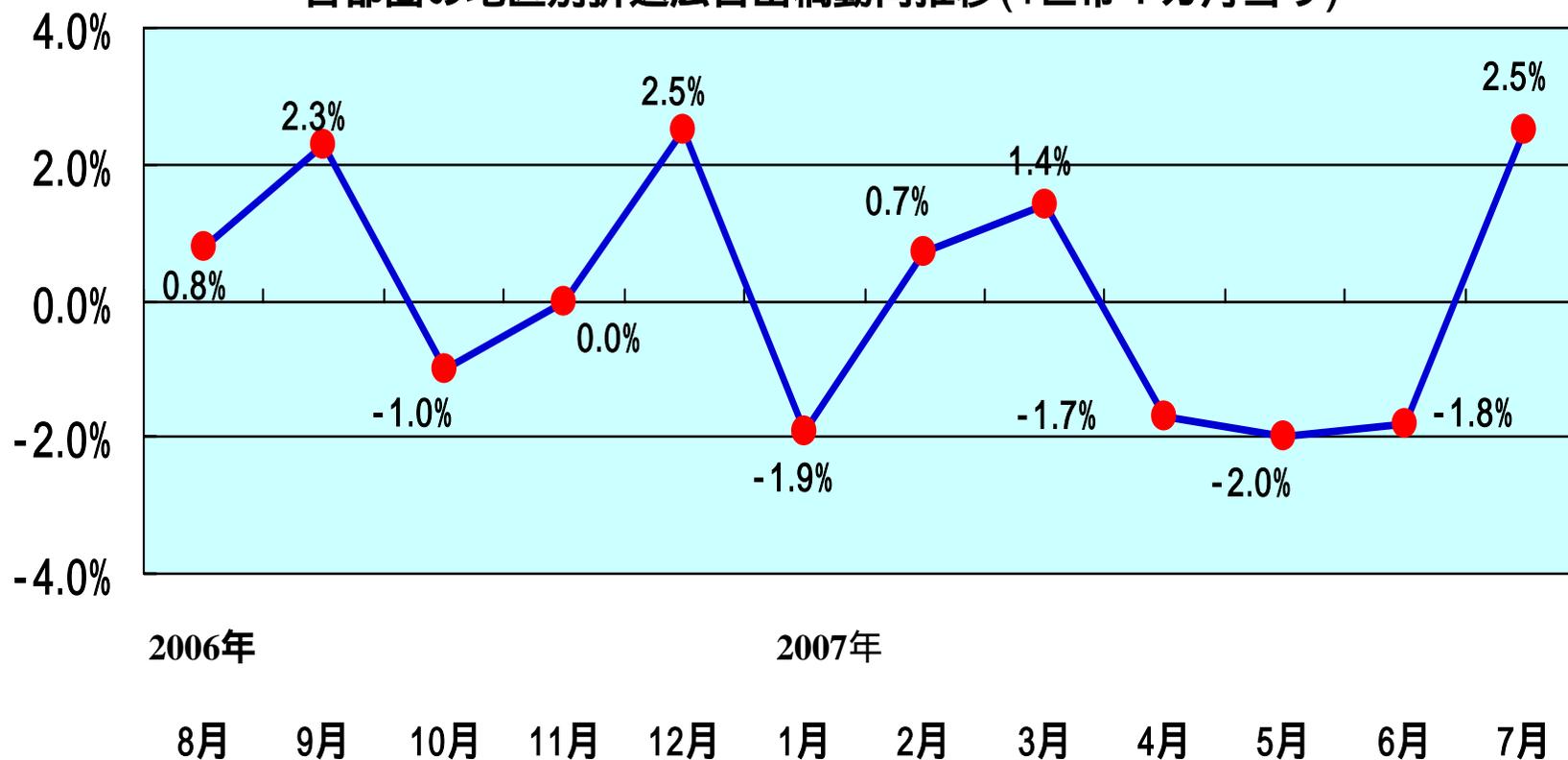
枚数

首都圏の地区別折込広告出稿動向推移(1世帯1カ月当り)



首都圏折込広告出稿動向前年対比

首都圏の地区別折込広告出稿動向推移(1世帯1カ月当り)



読売インフォメーションサービス
首都圏折込広告出稿

平成20年3月期(第53期)業績予想

連結予想

平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	4,540	81	6
通期	9,880	340	145

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 39円03銭

個別予想

平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	3,820	125	50
通期	8,300	390	200

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 53円84銭

(注) 今後の経営情勢などさまざまな状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。連結予想

会社業績 1

連結貸借対照表

第52期 (平成19年3月31日現在)

区分	金額(千円)	区分	金額(千円)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	4,310,043	流動負債	2,789,635
固定資産	3,646,156	固定負債	2,042,662
有形固定資産	1,887,455	負債合計	4,832,297
無形固定資産	319,690	(資本の部)	
投資その他の資産	1,439,009	純資産合計	3,123,901
資産合計	7,956,199	負債純資産合計	7,956,199

個別貸借対照表

第52期 (平成19年3月31日現在)

区分	金額(千円)	区分	金額(千円)
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,870,768	流動負債	2,517,096
固定資産	3,614,874	固定負債	1,805,018
有形固定資産	1,505,679	負債合計	4,322,114
無形固定資産	28,181	(資本の部)	
投資その他の資産	2,081,013	純資産合計	3,163,528
資産合計	7,485,642	負債純資産合計	7,485,642

会社業績 2

連結損益計算書

	平成19年3月期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金額(千円)	構成比
売上高	8,749,948	100.0%
売上総利益	1,798,586	20.6%
営業利益	275,914	3.2%
経常利益	271,375	3.1%
当期純利益	72,886	0.8%

個別損益計算書

	平成19年3月期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金額(千円)	構成比
売上高	8,075,112	100.0%
売上総利益	1,645,725	20.4%
営業利益	326,119	4.0%
経常利益	328,914	4.1%
当期純利益	112,513	1.4%

会社業績 3

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(千円)	434,319	425,177	3,042,748	246,820	3,655,426
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当 (注)	-	-	111,437	-	111,437
利益処分による役員賞与 (注)	-	-	6,000	-	6,000
当期純利益	-	-	72,886	-	72,886
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
連結会計年度中の変動額合計(千円)	-	-	44,550	-	44,550
平成19年3月31日残高(千円)	434,319	425,177	2,998,197	246,820	3,610,875

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	304,741	561,787	257,046	3,398,379
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当 (注)	-	-	-	111,437
利益処分による役員賞与 (注)	-	-	-	6,000
当期純利益	-	-	-	72,886
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	229,927	-	229,927	229,927
連結会計年度中の変動額合計(千円)	229,927	-	229,927	274,478
平成19年3月31日残高(千円)	74,814	561,787	486,973	3,123,901

株主資本等変動計算書

第52期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰 余金		
平成18年3月31日残高(千円)	434,319	425,177	425,177	94,313	2,915,000	33,435	3,042,748
事業年度中の変動額							
別途積立金の取崩 (注)	-	-	-	-	85,000	85,000	-
剰余金の配当 (注)	-	-	-	-	-	111,437	111,437
利益処分による役員賞与 (注)	-	-	-	-	-	6,000	6,000
当期純利益	-	-	-	-	-	112,513	112,513
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
事業年度中の変動額合計(千円)	-	-	-	-	85,000	80,075	4,924
平成19年3月31日残高(千円)	434,319	425,177	425,177	94,313	2,830,000	113,511	3,037,824

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(千円)	246,820	3,655,426	304,741	561,787	257,046	3,398,379
事業年度中の変動額						
別途積立金の取崩 (注)	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当 (注)	-	111,437	-	-	-	111,437
利益処分による役員賞与 (注)	-	6,000	-	-	-	6,000
当期純利益	-	112,513	-	-	-	112,513
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	229,927	-	229,927	229,927
事業年度中の変動額合計(千円)	-	4,924	229,927	-	229,927	234,851
平成19年3月31日残高(千円)	246,820	3,650,501	74,814	561,787	486,973	3,163,528

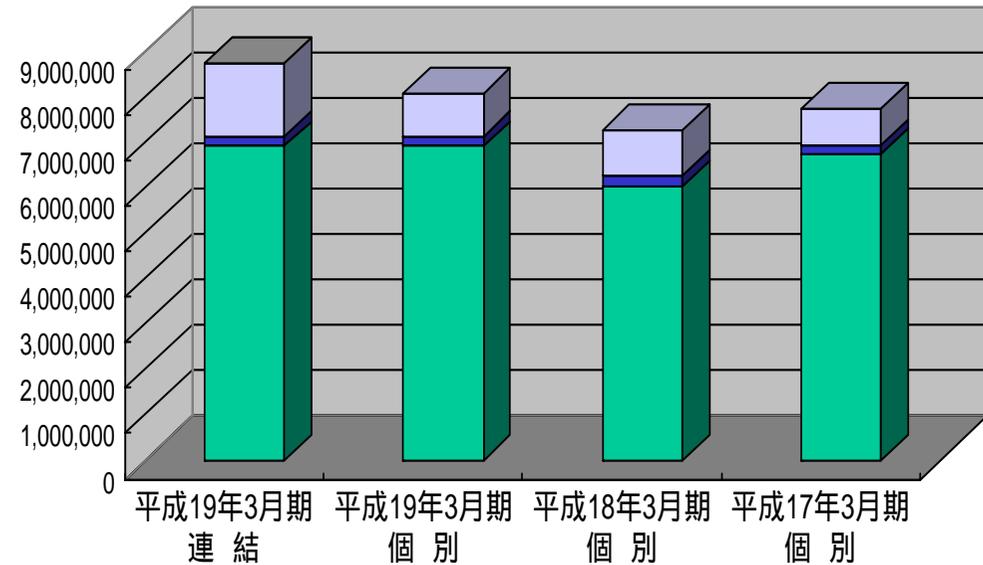
(注) 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

製品別売上高推移

連結ベース

単位：千円

	第52期
	平成19年3月期
印刷事業	
折込広告	6,902,836
包装資材	226,216
その他	1,605,021
計	8,734,074
その他の事業	15,873
合計	8,749,948



■チラシ ■包装資材 ■その他 ■その他の事業

(参考) 個別ベース

単位：千円

	第52期	第51期	第50期
	平成19年3月期	平成18年3月期	平成17年3月期
折込広告	6,902,836	6,043,399	6,735,237
包装資材	226,216	214,621	198,462
その他	946,059	1,011,226	799,219
合計	8,075,112	7,269,248	7,732,918

(注) 第52期より連結ベースで記載しております。

キャッシュ・フローの状況

単位：千円

	第52期	第51期	第50期
	平成19年3月期	平成18年3月期	平成17年3月期
営業活動による キャッシュ・フロー	66,364	303,889	44,809
投資活動による キャッシュ・フロー	323,937	42,417	293,030
財務活動による キャッシュ・フロー	303,603	8,556	427,229
現金及び現金同等物 期末残高	1,410,949	1,364,926	1,094,911

	第52期	第51期	第50期
	平成19年3月期	平成18年3月期	平成17年3月期
自己資本比率（％）	39.3	47.0	50.7
時価ベースの 自己資本比率（％）	37.4	40.6	43.4
債務償還年数（年）	28.1	3.7	-
インタレスト・ ガバレッジ・レシオ	3.8	27.9	-

(注)第52期より連結ベースで記載しております。

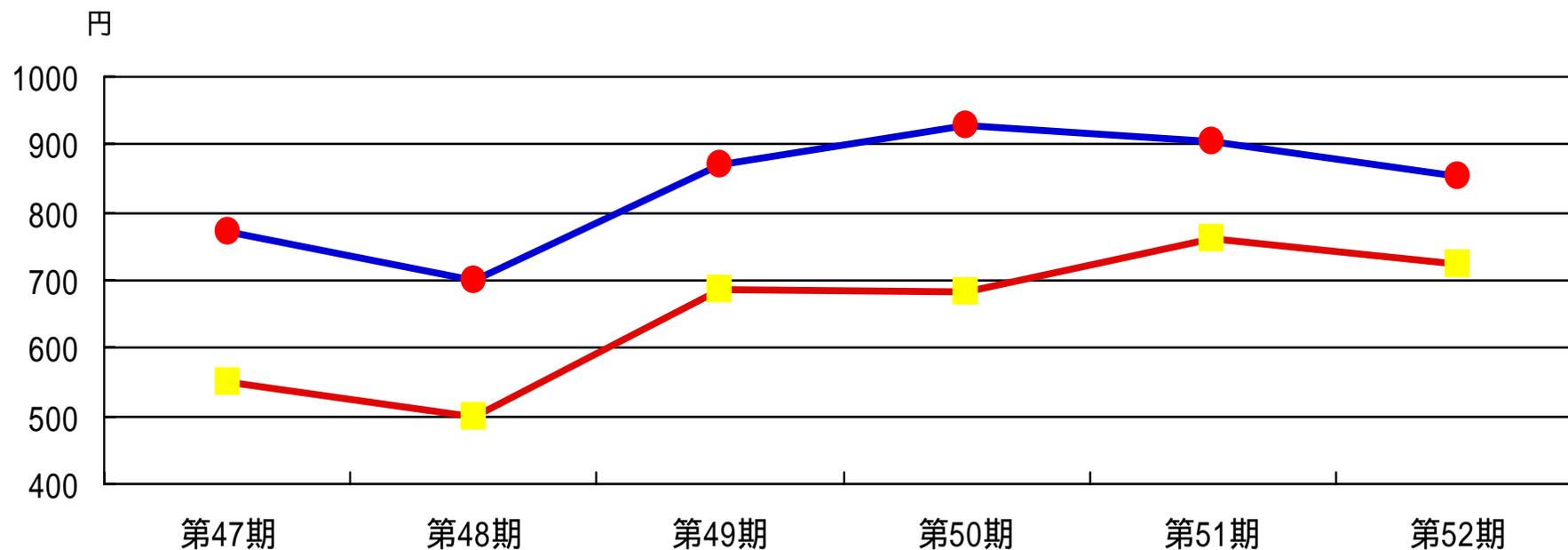
事業等のリスク

- 特定の製品への依存度が高いこと
- 特定取引先への依存度が高いこと
- 印刷業界における競合
- 用紙価格の変動と供給
- 情報システムとセキュリティ

株価の推移

回次	第47期	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
決算年月	平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
最高	770	700	870	930	905	855
最低	550	500	685	682	760	725

平成19年3月31日現在



平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況

経営成績の進捗状況(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益	(百万円未満切捨) 1株当たり四半期 (当期)純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
20年3月期第1四半期	2,169	17	11	35	9.63
(参考)19年3月期	8,749	275	271	72	19.62

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益は改善し、民間設備投資は増加しており、雇用情勢の改善により個別消費の持ち直し等により、景気は、緩やかに回復しつつ推移しております。しかし、広告業界におきましては、大きなイベントもなく前年を若干下回り、印刷業界も依然厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループ内の融合を図りながら、企画提案型営業を推進いたしました結果、当第1四半期における売上高は、2,169百万円、経常損失11百万円、四半期純損失35百万円となりました。